

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2013年7月26日

荒町児童館 「ハッピーペインティング」

外は怪しい雲行きです。会場の遊戯室で、私たちが養生したり、紙を広げたり、絵の具を紙のカップに出し始めたりしていると、その姿に興味津々の子どもたちが集まってきました。

やがて開始時刻となり、大きなロール紙のまわりに集まった子どもたちに、最初はクレヨン。その後で、水性絵の具で色を塗る順番を伝えます。

2枚ある白い大きな紙。そこに集まった子どもたちの個性の違いからか、全く違うクレヨン画ができてゆきます。グルグル、力を吐き出すように、線を描き、それが力強い形になってゆくチーム。もう1枚は、真ん中に線を引く男の子が何度も往復して、その両サイドに比較的具体的なかたちが描かれてゆきます、しかし、はじめてしまったのは、その画材が絵の具に変わったときでした。

最初は優しい塗り具合で、下のクレヨンが鮮やかに見えていたのですが、あっという間にそれは、厚く厚く塗りこめられ、子どもたちは、その上を駆け回りはじめます。乾いていない絵の具の海は、彼らにとっては愉快的遊び場となり、筆ばかりでなく、両手両足を使っての彩色作業となり、髪の毛、顔はもちろん、パンツまで、色付きとなってゆきます。描いた本人たちは、こんなお絵描きで、気持はずいぶんとスッキリ！になった様子で、見回せば、イイ笑顔ばかり！

でもでも、みんなのその汚れを洗い落とすのに、時間のかかったこと。

